

2022年8月1日
タイガースポリマー株式会社

ポリ塩化ビニール製ダクトホース・透明チューブにバイオマス材料を採用

- ✓ 当社は、バイオマス材料を使用したポリ塩化ビニール（PVC）製ダクトホースと、透明チューブを開発しました。既に国内工場生産を開始しており、本年8月頃の出荷を予定しております。なお、同様のホースやチューブでバイオマス材料を採用したのは、当社が国内初となります。
- ✓ 当社では、これまで省エネルギー化や再生可能エネルギーの使用など、生産工程における環境対応を進めておりましたが、製品でのバイオマス材料の採用は今回が初めてとなります。
- ✓ SDGsの推進など、企業における環境への対応がますます重要となり、グリーン調達拡大することを見据え、製品化に踏み切りました。今後もこのような環境に配慮した製品のラインナップを増やしていき、社会の持続的な発展・成長に向け「環境・社会への貢献」に取り組んで参ります。

【原材料の一部に生物由来の素材を使用】

- 今回開発したのは「タイダクトホース GL-BM 型」、透明チューブ「メディルチューブ V580C-BM」。
- 使用している可塑剤を、生物由来のものに切り替えたことにより、「タイダクトホース GL-BM 型」の製品重量に占めるバイオマス材料の割合は10%、「メディルチューブ V580C-BM」については同45%となり、日本有機資源協会のバイオスマークを取得しております。
- 「タイダクトホース GL-BM 型」は寸法によって5品目あり、内3品目については在庫を持って販売し、静岡工場にて生産をしております。
- 「メディルチューブ V580C-BM」は寸法が10品目あり、全サイズを在庫。栃木工場にて生産をしております。

※本件につきましては、本年7月6日付日刊工業新聞で紹介頂いております。



「タイダクトホース GL-BM 型」



「メディルチューブ V580C-BM」

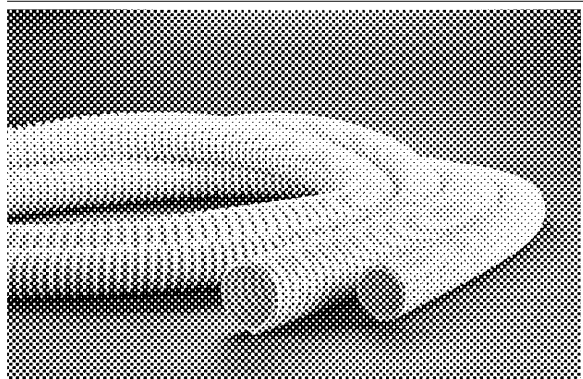
以上

バイオマス材料採用

タイガースポリマー ホース類 来月出荷

タイガースポリマーはバイオマス材料を使ったポリ塩化ビニール(PVC)製ダクトホースと、理化学機器用の透明チューブを開発した。国内工場での生産を始めており、8月ごろに出荷を開始する。同社によると、同様のホースやチューブでバイオマス材料を採用したのは国内で初めて。従来製品よりも価格が2倍程度になるが、環境意識の高い企業などに提案し採用につなげる。

開発したのはダクトホース「タイダクトホースGL-BM型」と透明チューブ「メディルチューブV580C-BM」。どちらも軟質PVCに柔軟性を与



源協会のバイオマスマークの認定を取得している。GL-BM型は寸法

品目あり、そのうち3品目で在庫を持って販売する。静岡工場(静岡県掛川市)で生産する。V5

▲バイオマス材料を使った「タイダクトホースGL-BM型」
80C-BMは8品目あり、全サイズを在庫。栃木工場(栃木県高根沢町)で生産する。PVCによる同社従来品と同じ設備で生産でき、耐久性など物性も従来品と同等としている。

タイガースポリマーでは省エネルギー化や再生可能エネルギー使用など生産工程での環境対応は進めていたが、製品でのバイオマス材料の採用は今回が初めてとなる。国連の持続的な開発目標(SDGs)の推進などでグリーン調達を拡大することを見据え、製品化に踏み切った。今後、ライナップを増やし、まずは3年後に年1億円程度の売上高を目指す。